



愛知県生涯学習推進センター情報誌



生涯学習情報満載！「学びネットあいち」
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



携帯電話からも情報検索できます。
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/i/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



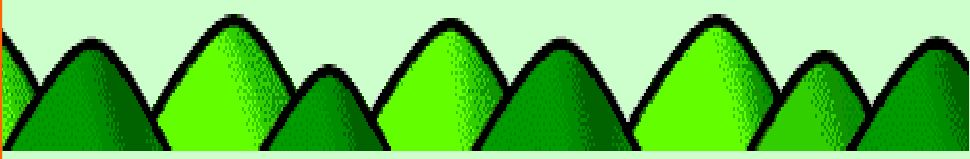
地域の遺産を未来へつなぐ！

～民俗芸能感動体験ゆめ授業～

人から人へ、時を経て受け継がれている民俗芸能。

この地域の遺産ともいえる民俗芸能を、確実に未来へ伝承していくために、保存団体などを中心に、県内の各地区でさまざまな活動が行われています。

今回は、子どもたちに民俗芸能を通じて、感動体験を味わってもらい、大切な財産を伝える活動をご紹介します。



INDEX【目次】



● 【特集】地域の遺産を未来へつなぐ！～民俗芸能感動体験ゆめ授業～	1
● 【体験レポ】戦争を繰り返さないために	3
● 【インタビュー】レベルアップに挑み続ける！－永島栄蔵さん－	14
● 【ネットワーク機関紹介】大学の地域貢献を目標に－愛知産業大学・地域共同教育研究センター	15
● 【ボランティアだより】武豊ハーモニカサークル / 稲沢マザーリングの会	16
● 放課後子ども教室のご紹介	18
● 講座・講習会・イベント情報	4
● 生涯学習イベントの日のご案内	19

地域の遺産を未来へつなぐ！～民俗芸能感動体験ゆめ授業～

愛知県教育委員会では、本年度から、子どもたちへの民俗芸能の伝承をめざして、地域の民俗芸能保存団体が地元の小中学校で民俗芸能を披露し交流する「民俗芸能感動体験ゆめ授業」を始めました。

この授業を通して、子どもたちが郷土を愛する気持ちをはぐくみ、地域の民俗芸能の担い手になってくれることを願っています。さらに、地域の人々が地元の小中学校と一体になって、子どもたちを育てていく環境を整えるきっかけになればと思っています。



□ 尾張の虫送り行事 □

稲沢市立牧川小学校

第1回目は、7月3日（火）に稲沢市立牧川小学校体育館で開催され、5・6年生児童61人が、祖父江虫送り牧川実行委員会の会員の指導のもと、県指定無形民俗文化財「尾張の虫送り行事」について、体験学習をしました。この「虫送り」は、稲作に害をもたらす虫を追い払い豊作を祈願する行事です。従来は、旧祖父江町島本新田地区で受け継がれてきましたが、後継者の減少で中断したものを、地元の有志により復活し、本年度は実行委員会が組織されました。



当日は、虫送り行事の趣旨やお祭りの様子などについて実行委員会の方からお話を伺ったあと、グループに分かれて松明^{たいまつ}を作りました。最後に松明を掲げながら、体育館内をみんなで練り歩き、祭りの気分を味わいました。

子どもたちは一生懸命作った松明を誇らしげに掲げ、目をキラキラさせながら歩き、体育館に歓声が響き渡っていました。



この授業を受けてみて、私たちも虫送りの伝統を守っていこうと思いました。来年もこの授業をやってもらい、牧川小学校の5、6年生は、必ず尾張の虫送りの体験ができるようにしてほしいと思います。（6年生・女）

一口メモ

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、「尾張の虫送り行事」をインターネット（動画）で配信しています。



<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/02011116/0/index.html>



躍山境おどり

豊川市立八南小学校

第2回目は、8月27日（月）に豊川市立八南小学校体育館で開催され、伝統クラブ員をはじめとする児童・保護者35人が、躍山境おどり保存会の会員の指導のもと、市指定無形民俗文化財「躍山境おどり」について、体験学習を行いました。「躍山境おどり」は、400年ほど前、八幡村と平尾村の水争いや草刈場争いが解決したことを起源にしています。



当日は、始めに保存会の実演を鑑賞した後、児童と保護者が一緒に輪になって踊りました。

保存会の方の振りを見よう見真似で踊っていくうちに、みんな少しずつ踊れるようになり、最後には踊る喜びを味わっているかのように、いきいきとした表情で楽しんでいる姿が印象的でした。



毎年、お祭りで見えていたけれど、こんなに昔の踊りであることは知りませんでした。ふだん体験できないことなので、参加してよかったと思いました。（6年生・女）

未来へつなぐため、各地で開催します！



開催小学校及び日時	演 目	備 考
安城市立 安城東部小学校 9/28（金） 13:45～15:20	三河万歳 安城の三河 万歳保存会 【H7国指定】	室町時代の畿内の万歳を起源としています。御殿万歳、三曲万歳等を伝承演目とし、年間を通して目出度い席（正月、敬老会、七夕まつり、結婚式等）で舞われます。
蟹江町立 須西小学校 10/5（金） 13:45～15:30	須成祭 須成敬神会 【S55県指定】	室町時代以前より行われている疫病退散を祈願する祭りです。穢れを葭に託して流す葭刈神事、宵祭（巻藁船曳航）、朝祭（車楽船曳航）等から構成されています。
半田市立 板山小学校 11/19（月） 9:45～11:35	板山獅子舞 板山獅子 保存会 【H9県指定】	獅子頭をかぶる歌舞伎芝居は、村の安全と米の豊作を祈り、氏神へ奉納する芸能です。足のつま先で踊ったり、番傘を飛んだりする等、大変難しい舞となっています。
一宮市立 葉栗小学校 11/20（火） 11:00～12:30	島文楽 島文楽保存会 【S36県指定】	江戸時代末期、隣村から人形を譲り受けたことを起源とする人形芝居です。昭和初期には「人形浄瑠璃連中」「嶋人形連中」という仲間があったと言われています。

◆◆お問い合わせ◆◆ 生涯学習課文化財保護室 Tel 052-954-6782



私らしく始めよう！生涯学習

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、自分の学習目的に合わせて講座などの情報を検索できる他、特に学習目的が決まっていなくても、自分の予定にあわせて講座情報を検索できる“イベントカレンダー”も充実しています。今回は、この“イベントカレンダー”を利用して、愛知淑徳大学の学生ボランティア 前川さんが、新たな学びの世界を取材してくれました！



【戦争を繰り返さないために ～物言わぬ資料が伝える平和～】

終戦記念日である 8 月 15 日に、北名古屋市文化勤労会館の「収蔵資料展～平和について考える～」に行ってきた。この資料展は愛知県と名古屋市が共同で設置した“戦争に関する資料館調査会”によって開催されているもので、一般の方から寄贈されたものも数多く展示されていました。珍しい資料もあり、中でも一番の見どころは“250kg 爆弾”！！名古屋市に落ちた爆弾で、大きくて存在感があり、年配の方はもちろん、家族連れや子どもたちも足を止めて見ていました。



△爆弾の信管は取り除いて埋められていました。

資料展に来ていた方に、展示物や戦争についての話を伺いました。年配の方からは、「戦争は“悲惨”“残酷”」「戦争のことを自分も世間も忘れかけている」という話を伺うことが

出来ました。特に多かった意見は、「普段は戦争の話はしないので、戦争のことを伝えていくためにも資料展を続けていくことが大事だと思う」「若い人たちに資料展を見てもらいたい」でした。それに対して、戦争を体験したことのない若者は、「戦争は“こわい”」「修学旅行で行った“広島原爆ドーム”や“はだしのゲン”



を思い出した」「身内に戦争体験者がいるので話は聞いていたが、生々しい写真や絵からは、なお一層戦争の悲惨さが伝わってくる」と話していました。また、戦争の写真を真剣に見ている小学生もいたり、戦争への真面目な姿勢が伺えました。

主催者である愛知県県民生活部県民総務課の職員の方にお話を伺いました。「展示物それぞれに、複雑な思いが詰まっています。来場者がそれらを実際に目で見て、その思いを感じ取ってほしいですね」

今回の取材で、さまざまな世代の方に話を聞き、さらに自分の意見を話すことができました。はじめは戦争についてあまりピンとこなかったのですが、この資料展をきっかけに真剣に考えるようになり、自分が感じたことを周りの人に伝えたいと思いました。

“百聞は一見にしかず”みなさんも実際に目でみて、それについて誰かと話してみてください。今までとは違った世界が広がると思います。

収蔵資料展のお知らせ

地域の戦争体験を実物資料を通じて、次の世代へ伝えていくために開催しています。

名古屋市男女平等参画推進センター 【名古屋市中区千代田】※戦時中の生活用品を中心に展示しています。
10/26(金)～11/1(木) 9:00～21:00 (ただし、日曜日のみ 17:00 まで。10/29(月)は休館)

豊田中央図書館 【豊田市西町】※貴重な写真とともに、子どもに関する資料を中心に展示しています。
11/3(土)～11/11(日) 10:00～19:00 (土・日・祝は 18:00 まで。最終日は 16:00 まで。11/5(月)は休館)



この人に聞く！

レベルアップに挑み続ける！

－ 向上心こそ活力の源です



生涯学習に関する様々な活動をしてみえる方にお話を伺い、その方の信念や活力の源に迫ります。今回は、仕事と両立させながら、目標をもってダンスに取り組んでいる、永島栄蔵さんにお話を伺いました。

－ スクエアダンスを始めたきっかけについて教えてください。

永島さん（以下敬称略。） 大学の時フォークダンスクラブに所属していましたが、働きだしてからはどうしても仕事が中心になってしまい、ダンスからはしばらく遠ざかっていました。

40 歳くらいの時、所用である生涯学習施設を訪れたのですが、偶然通りがかった部屋の中からカントリーソングが聞こえてきました。覗いてみると、仲間で楽しそうにダンスを踊っている姿が目に入り、衝動的に飛び込んで、気づいたときには踊りの輪に入っていました（笑）。

－ ダンスへの思いがずっと心の奥にあって、それが背中を押したのでしょうか。

永島 そう思います。これがきっかけとなり、ダンスクラブに入って、本格的にスクエアダンスを始めました。スクエアダンスというのは、レベルが5段階に分かれているのですが、今は上へ上へとレベルアップを目指して、仲間と一緒にサークル活動を通して練習に励んでいます。

－ スクエアダンスの魅力を教えてください。

永島 スクエアダンスとは、コーラー（CALLER）という動きを指示する人が1名と、男女4組（8名）が1つの組になり踊るもので、踊り手はコーラーの指示を瞬時に判断して動きます。コーラーが指示する動きの中には一定の法則があるのですが、踊り手はその法則を読み解く必要があり、スクエアダンスには、いわばパズルを解くような難しさと面白さがあります。

動きも特徴的で、踊り手が指示された位置へ動く際のリズムが重要で、一人一人の表現方法は基本的に自由です。その位置に進む時に、くると回る人もいれば、足を上げる人、手を叩く人もいます。一見、思い思いに踊っているようでも、全員のリズムが合っていれば、足音は整然とそろいます。そろった瞬間は何ともいえない喜びがあり、これも大きな魅力ですね。

－ そういった面白さと喜びが、永島さんを虜にしているのですよね。

永島 そうですね。個人的には、コーラーとして、踊り手が動きやすい動き、流れるような動きの組み立てを考えることも楽しいですね。時には、スピードをあげてみんなを振り回してみたり（笑）、少し難しい動きを入れたりして、踊り手に刺激を与えています。

－ 今後の目標について教えてください。

永島 第1には、やはりダンスのレベルをあげたい。そのために、ブランクを空けずに、常にイメージトレーニングを続けています。

また、ダンスパーティが世界各地で開催されているのですが、仕事が落ち着いたら、そこら中のパーティにも参加したいですね。育った環境や言葉は違っても、ダンスでコミュニケーションがとれる。とても素晴らしいことですよね。メンバーの中には、国内外問わず、積極的に参加している人もいますよ。

楽しみの中から、何か1つでも目標を持つことが、元気の源になると思いますね。

－ 向上心を持ち続けダンスに取り組んでいる永島さん。最後にメッセージをお願いします。

永島 自分が打ち込めるものを探して実践することは、大きな喜びにつながります。やってみて“楽しい”と思う気持ちは確かなのですから、まずは挑戦して“楽しい”と思えるものを見つけてください。阿波踊りの「踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにや損々」ではありませんが、ただ見ているよりもチャレンジした方がきっと楽しいと思いますよ。

【永島栄蔵さん（学習サークル「チャレンジマトリックス」代表）】

愛知県生涯学習推進センターを中心に活動していらっしゃいます。笑顔の中にも、ダンスに対する真摯な思いが伝わってくるような、とても魅力的な方でした。

大学の地域貢献を目標に ～愛知産業大学・地域共同教育研究センター～

愛知産業大学は創立 15 年の新しい大学。岡崎市東部の小高い山の上に姉妹校の三河高校などと一緒に校舎が建っています。本学が地域貢献への模索を始めたのが、およそ 10 年前。最初は何をやっているのか分からず、まずはできるところから始めようということでスタート。そのうち岡崎市内の他大学との連携、地元の産業界・行政などと様々な取組が始まりました。

こうした中で、平成 17 年 4 月に「地域共同教育研究センター」が誕生し、これまでのものを継続しながら、新しい取組を始めるようになりました。

◆◆講演会・講座◆◆

年間約 50 回、市民対象に行っています。大学院の公開講座のような専門的なものから、幅広く一般の方々を対象とした教養講座まで多岐に渡っています。また本学学生対象の講義も一部一般公開されています。これらは、本学（岡崎市）、コミュニティサテライトオフィス（松坂屋岡崎店 6 階）、名古屋サテライト（名古屋市金山）などで開催しています。



△市民対象公開講座



△ラッピングデザイン

◆◆地元企業などとのコラボレーション◆◆

①造形学部の学生を中心に以下のような活動を行っています。

電力会社の自動車のラッピングデザイン

会社のロゴ作成や商店街のフラッグ（旗）作成

地元産ジャムやジュースのラベルデザイン 等

②各分野の実務家をお招きして講義を行っていただいています。

経営者、デザイナー、建築家などをお招きし、本学学生を対象に実務経験や体験をお話いただいています。学科科目として導入しており、年 20 名前後の方が講義、一般の方々の聴講も可能となっています。

この他産学連携のために本学教員及び学生も含めた活動ができるよう検討を行っています。

◆◆学生作品展・発表会◆◆

本学学生の教育成果を社会に問うために、毎年作品展や発表会を行っています。ほとんどを一般公開しており、多くの方々が見学や聴講に足を運ばれています。

◆◆大学施設の一般開放◆◆

時期と時間が限られるものの、図書館、コミュニティホール、スチューデントスクエア、体育館などを開放しています。



△作品展の様子

【愛知産業大学・地域共同教育研究センター】

岡崎市岡町原山 12-5 <TEL> 0564-48-4511 <URL> <http://asu-g.net/univ/>

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供してくださる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。
詳しくは「学びネットあいち」(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

ボランティアだより



地域で積極的にボランティア活動を行っている方や、その方が所属するグループ・団体等を訪問し、実際に活動する様子や生の声を紹介していきます！

今回は、自分たちの趣味や経験を活かして、公民館などで活動するボランティアの方々を取材しました。

懐かしい音色で“ほっ”とする時間届けます！



創立 16 年目を迎える「武豊ハーモニカサークル」。地域の老人保健施設への慰問演奏や保育園での発表会などを中心に活動しています。メンバーの中には、海外でも活躍し、ドイツで行われた世界大会に出場した方もいらっしゃいます。今回は慰問先での心安らぐ演奏会の様子をご紹介します。

「武豊ハーモニカサークル」は生涯学習の一環として発足しました。活動場所は武豊中央公民館。少人数だった活動もだんだんとメンバーが増え、毎月第 2・第 4 火曜日は石川澄夫先生の指導を受ける定期練習、第 1・第 3 土曜日は自主練習と、毎週熱心に活動しています。こうした練習成果の発表の場として、10 年ほど前から慰問活動を始め、今では慰問先の方々が心待ちにしてくれるまでになったそうです。

8 月上旬に、武豊福寿園で行われた慰問演奏会を取材しました。なんと今回で 26 回目を迎えます。大きな拍手に迎えられ演奏会は始まりました。曲目は 14 曲。誰もが知っている名曲ばかりです。どこか懐かしいハーモニカの音色を聞いていると、観客席からは曲に合わせて手拍子や歌声も聞こえてきました。水戸黄門のテーマが演奏されたときには大合唱！会場全体が 1 つになったように感じられました。最後はアンコールが起こるほど盛り上がりました。

ところでみなさんは、ハーモニカに高音用や低音用といった様々な種類があることを知っていましたか？種類によっては長さが 30～60 cm の物もあるそうです。そのハーモニカを、一人



△ハーモニカの澄んだ音色が部屋いっぱいに広がります！

一人が数種類使いこなして演奏している姿には、とても驚かされました。

演奏会終了後、代表の鶴飼さんにお話を伺いました。「演奏会を楽しみにいただいていることは本当に嬉しいことです。“わきあいあいの中にも厳しさを”を合言葉に日々練習を重ねています。演奏会前は各自臨時練習をするなど、熱が入りますね」。メンバーの方は「観客の方たちが楽しそうに歌っている姿を見ると、こちらまで楽しくなっていきます。まだまだ未熟な部分が多いですが、さらに練習を重ねて、もっと楽しんでもいただける演奏会にしたいですね」と、次回に向けての意気込みを話していただきました。

充実感や達成感がこちらまで伝わってくる爽やかな笑顔が、とても印象的でした。

◆◇ 活動を詳しく知りたい方は ◇◇

【URL】 <http://www.chitanet.or.jp/vol/12/>

育児、たのしんでいますか？



稲沢市で子育てネットワーカーとして子育て支援活動講座を受け持ち、多忙な日々を送る定行加保里さん。ご自身の子育て中の悲しい経験から、現役ママを応援しようと立ち上げたサークル「稲沢マザーリングの会」の代表を務めています。今回はその定例会にお邪魔して、定行さんのパワーの秘密や熱い思いを伺ってきました。

定行さんは、18年前に大阪から引っ越してきた際、周りに手を差し伸べてくれる人もなく、公園に行っても相手にされなかったという悲しい体験がきっかけとなって、自ら積極的に公園のお母さんに声をかけ、自宅を情報交換の場として提供したのが活動の始まりです。少しずつ活動の幅も広がり、場所も自宅からより多くの人が集える公民館等に変わり、スタッフも増え、現在は複数のグループに分かれて活動しています。

今回は、定行さんが担当しているPクラス（妊婦から8ヶ月の赤ちゃんを持つお母さん対象）の定例会（情報交換の場）にお邪魔しました。

7月の下旬の暑い中、稲沢市公民館に10組の親子が集まり、育児についての情報交換が始まりました。本日のメインテーマ「暑さ対策」について、「どんなことをしていますか？」と定行さん。ベビーにとっては初めての夏、若いママからいろいろなアイデアがでてきました。少しご紹介します。

「冷房を1日中微弱設定又はドライ設定にしている」、「肌着をこまめに替えさせる」、「シャワーを1日に数回する」、「背中にガーゼのハンカチを1枚いれてあげる」—熱心に意見が飛び交います。中でも、「ベビーシート又はベビーカーに、保冷剤をおいてい



△「暑さ対策、何かしていますか？」

る」という意見にはびっくり。「へえ〜!」という声がかえってきました。

定行さんは、そんなお母さんたちの意見をよく聞き、その都度適切なアドバイスをしています。そして最後に、「便利と危険は隣り合わせ。事故が起こる場合もあるので注意しましょう。そしてあまり快適な環境にすると、子どもが暑さに我慢ができなくなってしまうので気をつけてくださいね」と締めくくりました。

最後に定行さんにお話を伺いました。「会が終わってもすぐに家に帰らず、時にはランチに行ったりして、交流を楽しむことがママの元気の源です」

定行さんは、このような育児サークルにも参加できず、家で閉じこもっているお母さんを心配していらっしゃいました。育児で悩むお母さん、一人で悩まず、思い切って行動してください！

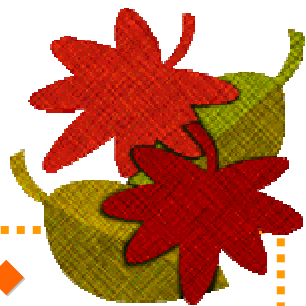
◆◇ 活動を詳しく知りたい方は ◇◇

【URL】<http://inazawamotherring.web.fc2.com/>



今回は、公民館を中心に活動してみえる方々取材させていただきました。
武豊町では、演奏会前の時間を利用して各自が音の調整を行うなど、全員がプロ意識を持って取り組んでいる様子が、とても印象的でした。
稲沢市では、地域で子育てを支援しようという意識の高さに驚かされました。
自分自身の趣味や経験を、地域に貢献する — とても素敵なことだと思いませんか？

放課後子ども教室のご紹介



◆◆◆放課後子ども教室とは？？？◆◆◆

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化教室、地域住民との交流活動等の取組を実施しています。このことにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。



子ども教室取材しました！



瀬戸市立陶原小学校

陶原小学校は瀬戸市の中心部に位置し、自然の中に学校がある、まさに子どもにとっては理想的な学校です。ここでは、瀬戸市がNPO法人「こどもの杜」へ委託して、せとっ子モアスクール（放課後子ども教室）が実施されています。今回は、愛知淑徳大学の学生ボランティア 山岸さんが活動をレポートしてくれました！



8月の猛暑の中、瀬戸市立陶原小学校で開催されているせとっ子モアスクールの取材に行ってきました。

陶原小学校のせとっ子モアスクールでは、月に1回、夏休み中は週に1回のペースで、NPO法人「こどもの杜」理事長の山本さんを中心に、自然の中で行うさまざまな体験教室が企画されています。この日は、「森の学校」が開催されていました。

私が小学校に着くと、山本さんも子どもたちの姿も見えません。職員の方に伺うと、「山本さんなら、子どもたちと一緒に山に入っているよ」と予想外の返答が……。ドキドキしながら案内されるままについていくと、驚いたことに、陶原小学校のすぐ裏には山があり、山の中に、木で作られた平均台やタイヤのブランコなどの懐かしい遊具が設置されていました。そして、山本さんと子どもたちは、自然に囲まれてアスレチックを楽し

んでいました。私が子どもの頃は、このようなアスレチックでよく遊んだものでしたが、今の子どもたちには珍しいもののようでした。子どもたちは山本さんやスタッフの方に手をとって教えてもらいながら、少し不安げに、でもわくわくした楽しそうな笑顔でアスレチックに挑戦しており、大きな歓声が自然の中に響き渡っていました。

山本さんに、子どもと遊びについてお話を伺いました。「今の子どもたちは、ゲームやテレビなどに囲まれており、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。勉強だけでなく、遊びを通じて学ぶことも多いと思っています。「面白い！楽しい！」と感じることが、子どもにとっては一番大事。放課後子ども教室を通じて、大人はそのことに気付き、そして子どもは自分からいろんなことに挑戦できるようになるといいですね」と熱く語ってくださいました。

「夢は、子どもたちを連れて、自然の中で過ごすサバイバルゲームを行うこと。親のありがたさや日常の便利さに気付けるんじゃないかな」と満面の笑顔で語る山本さん。サバイバルゲームが叶った際には、是非また取材をさせてくださいね！



東海市立大田小学校

大田小学校は東海市の中心部に位置し、近くには大田川や木田山があり、自然にも恵まれた学校です。ここでは、東海市教育委員会が、授業後と土曜日に放課後子ども教室を開催しており、夏休み中は木曜と土曜に体験教室を開催しています。



明け方まで激しい雨が降り続いていた8月下旬、東海市立大田小学校で開催されている放課後子ども教室取材しました。

正門をくぐると、子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきました。この日は、約20名の子どもたちが「タイルペインティング」に挑戦していました。

さっそく図工室に入ると、地元のタイル屋さんを講師にお招きし、子どもたちは思い思いに、タイルに絵を描いていきます。好きな食べ物、夏休みに家族で行った水族館のシャチのクー、家で飼っているうさぎさん・・・、個性あふれる作品がどんどんタイルに描かれていきます。「先生、うまく描けない!」「色がうすくなっちゃった」— 子どもたちの手があがるたびに、指導員の方



がそばまで行って、「どうしたの?」とか「絵の具に含ませる水を少し減らすと、もっときれいな色がでるよ」などと優しく声をかけます。

色を塗り終わり、講師の先生に絵が消えないように特殊な加工をしてもらったら出来上がり!世界に一つしかない自分だけの作品を、誇らしそうに眺めたり、友だち同士で見せ合ったりしている姿がとても印象的でした。子どもたちに「今日はどうだった?」と聞くと、あちらこちらで「楽しかった!」という元気な声が返ってきました。

「こちらの方が感動をもっているんですよ!」—講師の先生も目をキラキラさせておっしゃいます。



「子どもたちの素直で真剣に作品と向き合う姿や、子どもならではの発想や自由な色使いから生まれる作品を見ていると、本当に感動します。こういう形で子どもたちと触れ合えることはありがたいですね」。

今回の取組取材して、放課後子ども教室は、教える方も学ぶ方も元気になれる、まさに“地域の学校”だと思いました。こういった取組が、もっと広がるといいですね。



センター支援ボランティアに活躍していただいています!

愛知県生涯学習推進センターでは、ボランティアの方に、自身の学習活動の一環として、センター業務の一部を補助的に従事していただいています。

★★「学びネットあいち」の情報登録★★

IT ネットなごやの御協力を得て、毎月エクセルでの情報登録を行っていただいています。

★★「学びネットあいち」学習コンテンツの作成★★

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）の御協力を得て、2名の学生に人権教育用教材のDVDをWeb用教材として編集等していただきました（10月追加予定）。

★★ 情報誌「まなびいあいち」の取材 ★★

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）の御協力を得て、2名の学生に取材に行っていただきました（本誌P.3及びP.17参照）。





「生涯学習イベントの日」 を開催します

秋も一段と深まる 11 月。愛知県生涯学習推進センターで「生涯学習イベントの日」を開催します。学習サークルの皆さんによるステージ発表・展示・体験コーナーや、県内交響楽団によるラウンジコンサートなどを行います。「あいち子ども芸術大学」も同時開催されます。入場は無料です。

ご家族・お友達と一緒に、芸術の秋をお楽しみください！

日時：平成19年11月3日（土） 午前9時～午後5時
会場：愛知県生涯学習推進センター（愛知県東大手庁舎2F）

大好評の野菜即売
会もありますよ！！



中部フィルハーモニー交響楽団メンバー
による室内楽コンサート

「弦楽四重奏の調べ」

〔曲目〕モーツァルト「アイネクライネナハトムジーク」
ビートルズナンバーより「イエスタディ」
日本のうたより「ふるさと」 他
午後3時30分～午後5時



【体験コーナー】

尾張絵教室、革細工教室、押し花教室、ハーブ教室、
アルミ缶アート、リサイクルショップ

【ステージ発表】

人形劇、コーラス、民謡、手話コーラス、マジック

【パソコン講座】

インターネット、ワープロ、表計算など（要事前申込）

【作品展】（10/29～11/10）

水彩画、絵画、書、俳句、水墨画、革細工、押し花、
パソコンアート

《協賛：名古屋経営会計専門学校、JA あいち海部》

同時開催！



あいち子ども芸術大学



締め切り迫る！！

申込締切 10月13日（土）必着

「押し花アートを作ろう

～みんなで作ろう森の生き物たち～



午前9時30分～午前11時30分
定員：20組40名（保護者同伴）
講師：清水 美千代（押し花作家）
対象：小学校4～6年生及びその保護者
※応募者多数の場合は抽選

「君も役者だ！監督だ！

～映画ってなんだろう？ウソ…ホント～



午後1時～午後5時
定員：40名
講師：奥田 瑛二（映画監督・俳優）
対象：小学校5年生～中学生
※応募者多数の場合は抽選

※ 詳細はホームページをご覧ください【<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>】

生涯学習推進センター情報誌「まなびあいち」は、生涯学習に取り組むみなさんと、愛知県生涯学習推進センターを結ぶ広報誌です。「こんなことを取り上げて欲しい！」「こんな情報がほしい！」「活動取材してほしい！」、どんなことでも結構です。ご意見等を下記までお寄せください。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 愛知県生涯学習推進センター

ファクシミリ：052-961-0232 Eメール：info@manabi.pref.aichi.lg.jp



生涯学習のマスコット
「マナビ」